

より良い親子関係講座

NO 73

新年、明けましておめでとうございます。

今年もケッコ〜な年になりますように！



新しい年を迎え、あらたに一年の計画を立てておられるのではないのでしょうか？

APジャパンも、今年度から新しい取り組みをしていきたいと考えています。まずその第一歩としては、季刊誌「リンク」をホームページ上にて、PDFにして皆さまに公開することになりました。ただし、AP講座を始めて受講された方には初回のみこれまで通り郵送したいと思っています。長い間、有料で季刊誌「リンク」を購読していただき受講生の皆さまには、こころから感謝しております。本当にありがとうございました。これからホームページを開くお手間はかかりますが、スマートフォンでも開いて見ることができますので、これまで通り年間4回（新春号1月、春号3月、夏号7月、秋号10月、いずれも中旬くらいの予定です）発行していきますので、ご購読をよろしくお願い致します。

またAPを学んだ仲間たちの交流会「APのつどい」や、APリーダー研修会などの開催日程など、今年度の活動はホームページ上に掲載しておりますので、見逃すことなくご覧いただきたいと思っています。そして、できれば催しにはお時間のある限り、ご参加下さい。

ちなみに今年度の「APのつどい in福岡」は、1月24日(火曜日) 10時から13時まで、アクロス福岡の会議室604で行う予定です。参加申し込みは1月20日までにAPジャパン野中までご連絡下さい。他にもリーダーのための学習会や受講生のためのフォローアップ講座も毎月開いております。AP講座を受講された方やリーダー資格を持った方であれば、どなたでもしっかりサポートしていきたいと思っています。遠慮されることなくご参加下さい。

このようにホームページを充実させていきますので、時々覗いてみて下さいね。ホームページの中の「子育てアドバイス」や「りこママのブログ」も、なかなか好評です。気楽に読んでいただければ幸いですし、講座の復習にもなるかと思います。講座を受講しても、すぐには学んだようにできないですし、自分の身につくまでには多少時間がかかります。すぐにできないと落ち込みますよね。でも、いっしょに学ぶ仲間がいると心強いものです。本来子育ては楽しいものです！今年もAPの仲間といっしょに楽しく学び、成長していきましょう。

“ The Age of Trump ”

During the U.S. election last November I was among the many who were 100% sure Hillary Clinton would be elected. Not only was she the most qualified candidate we have ever had, but her opponent was the least qualified-- in experience, temperament and behavior. He had run a reality TV show and was widely known, but people thought his running was a joke that would soon end.

On election night I happened to wake up at midnight and turned on the TV. To my utter shock, Trump seemed to be winning. I felt sick. Karen in Tucson was also awake and on email. She said, “Mom, I can’t sleep either. Call me if you want to.” So at 2:30 AM we were on the phone sharing our horror and disbelief.

Many of his fans wanted to “shake things up a bit” and show their disapproval of politics as usual. He is now busy choosing people to work with him who are also disqualified, but are loyal to him. He has already made China angry, but Russia is happy.

Apparently the fake news –stories were printed against Hillary that you couldn’t believe—was one factor in his election. Just yesterday a guy traveled to D.C. and entered a restaurant shooting off his gun. He was there to check out the story he had heard that Hillary and her people were running a child molestation ring in the back of that restaurant! Hate crime is on the rise, and we are concerned for the immigrants.

One of the most worrisome parts is the effect he is having and will have on the nation’s children. Usually the person in the White House is a person children can admire and imitate, such as the Obama Family was. Now the role model is one who lies more than he tells the truth, cheats people who work for his companies, and has shown disrespect for almost any group of people you can think of.

As of January our country will be one big reality show with a buffoon playing the lead role as president. When you watch it, you will either laugh in disbelief—or weep for what we are living through over here.

June Seat

APJapanFounder and Consultant

昨年5月に来日された際、ジューンさんに「APのつどい」でAPジャパン創設時を思い出しながらお話をいただきました。ジューンさんが持っているのはマグリットの絵です。



トランプの時代

11月のアメリカの大統領選挙の期間中、私はヒラリー・クリントンが100%当選すると思っていた多くの人たちの中の一人でした。ヒラリー・クリントンが、かつてないほど候補者としてふさわしい人であるというだけでなく、その対抗者が経験、気性、行動においてあまりにもふさわしくなかったからです。彼はリアリティ・テレビショーをやっている、米国民に広く知られていました。しかし人々は、彼の立候補は冗談で、すぐに終わるだろうと思っていたのです。

選挙の日の夜、私は真夜中にたまたま目を覚まし、テレビをつけました。全くの衝撃でした。トランプが勝利しそうだったのです。私は気分が悪くなりました。アリゾナ州のタクソンにいる娘のカレンも起きていて、メールをくれました。彼女は「お母さん、私も眠れないの。話をしたい時は電話してね」と言いました。それで午前2時30分に私たちは恐怖と驚きを電話で分かち合いました。

彼のファンの多くは「物事を少し刷新しよう」と望んでいます。そして、既存の政治に反対を表明しています。彼は今、共に仕事をする彼と同じように不適格な、しかし彼に忠実な人々を選ぶのに忙しくしています。彼はすでに中国を怒らせ、ロシアを喜ばせています。

どうやら皆さんが信じられないような、ヒラリーに対する情報が流された（それは偽りのニュースだったのですが）のが、当選の一つの要因のようです。ほんの昨日、ある男がワシントンD.C.へ行きレストランに入って銃を発射しました。彼はレストランの裏でヒラリーと支援者の人々が子どもの性的虐待の組織を運営していると聞いた話を確認するためにそこへ来たのでした。ヘイトクライムは高まっており、私たちは移民の人たちのことが心配です。

最も気がかりなことの一つは、今のそして将来のこの国の子どもたちへの影響です。普通ホワイトハウスの住人は、オバマ・ファミリーのように、子どもたちが賞賛し、真似ることができる人物です。今やその役割のモデルは真実よりもウソを語り、彼の会社で働く人たちをだまし、考えられるほとんどすべての民族の人たちに対して冒涔的なふるまいをしているのです。

1月に私たちの国は、道化師が大統領の役を演じているリアリティ・ショーとなっていることでしょう。あなたがそれを見た時、まさかと笑うか・・・あるいは私たちがこちらで生き抜いていることを嘆くか・・・のどちらかでしょう。

APジャパン創設者・友人 ジューン・シート

訳：野口 紀子

AP講座はマジックです!

福岡市 永尾 むつみ

初めてAP講座を受講したのは2003年です。あれ以来5回近く講座を受講しています。子育てに悩み続け、仕事にも自分へも辟易としていた時に出会ったのがこの講座です。私の悩みはいろいろと変わりますが、講座に参加すると不思議とその悩みが解決する気がします。そんなマジックがいくつかこの講座には存在していると思います。

講座の一番目のマジックは、「マイメッセージ」を伝えられるようになる事だと思います。初めての講座でそれが出来た時の感動は、今でも心に残っています。「マイメッセージ」を伝えるのは簡単なようで、なかなか難しいものですが、相手の気持ちに共感し（相手の気持ちを想像し）、問題はどこにあるのか整理（自分の感情に正直に向き合うように）すると、自分自身の考えていること、やりたいこと、大切にしていること・・・などがわかるようになり、相手に伝えたいメッセージが自然に口に表れるようになったのではないかと思います。

二番目のマジックは、自分自身を「まっいいか!!」と受け入れ、大好きになれたことです。「マイメッセージ」を伝えられるようになると、自分の考えや行動もわかることが多いため、気負わず自分を表現できるようになります。そうすると、他人に頼らず、自分で自分を宥めたり、叱咤激励したり・・・と自分の心を大切にできるようになりました。この第二のマジックは第三、四と次々と新しいマジックを展開してくれます。気が付くといろんな問題が解決できているというわけです。

人として生きている限り、幸せとの出会いもありますが、逆のトラブルも避けることは不可能です。絶え間なく出会う多くのトラブルの一つ一つに対して、講座で得たマジックが完璧な答えを教えてくれるわけではありませんが「あなたはあなたらしくマイメッセージを発してみてください」

と後押ししてもらっているような気がします。この「暖かい後押し」こそ、講座最大のマジックかもしれない。そう思うこの頃です。そして、講座を通して出会うたくさんの仲間のみなさんの存在と、皆さんと交わす数々の「ことば」があってこそ起きてくれるマジックです。感謝しています。

しゅんすけ(3歳) 日記 その③

最近休日に、しゅんすけとお父さんは近くのお風呂屋さんに行っています。そのために私と京香ちゃんは夕食の前に家のお風呂に入ります。私がお風呂に入ろうとすると、「絵本読んで～」としゅんすけ。「お母さんはお風呂に入るよ。今入らないと、遅くなってお風呂屋さんに行けなくなるよ。絵本はお風呂屋さんから帰ってきてから読んであげるね」「嫌だ、今読む～」「じゃあ、お風呂屋さんに行かないのね」「行かない」「絵本読んだらいっしょに家のお風呂に入ろうね」「はい」ところが、絵本が終わってもしゅんすけはお風呂に入ろうとしません。「お風呂屋さんに行くんだもん」様子を見ていたお父さんが「約束だから今日はお風呂屋さんに行かないよ」と言うと、大泣き。「お父さんともう一度約束しよう。しゅんすけが夕ご飯を遊ばずに自分で食べたからお風呂さんに連れて行こう!」「はい」

夕食の時間、しゅんすけは好きなトマトだけ食べて、「おなか苦しい。抱っこして～」そして、お母さんの膝の上で遊び始めました。とうとう怒ったお父さんがベットに連れて行くと、またまた大泣き。そしてお母さんに抱っこされながら眠ってしまいました。約束って、いつから守れるようになるんだろうね?

わが子の「やる気スイッチ」を見つけるには! (「PHP大特集 子どものやる気は親がつくる!」から抜粋)

- ①やる気のなさをSOSのサインととらえる
- ②「安心」「楽しい」「認められる」などの、心のエネルギーを補給する
- ③親の思いと子どもの現実にはズレがある場合にはこだわらず柔軟に修正する
- ④やり方がわからず、つまづいている場合には何をどうやればいいのか具体的な手がかりを与える
- ⑤「自分でやった!」という子どもの自己効力感を高める

家庭が子どもにとって安心できる、くつろげる場所になっていますか? わが子にたくさんの◎をつけていますか? ありのままの子どもを認めていますか? 壁のないコミュニケーションできてる?



リーダー誕生 おめでとうございます！

福井県福井市：吉田 由香利
福岡県福岡市：磯部 玲子
東京都八王子市：萩原 真弓

昨年度は、左記の3名の方を含め、磯部一恵さん（福岡市）、白石美代さん（福岡市）、北内智子さん（さいたま市）、石井真智さん（東京都）、八十田有仁子さん（福岡市）、堀口真澄さん（八王子市）、笹原祐子さん（八王子市）、吉田万里さん（大分県別府市）、宮原久美香さん（福岡県飯塚市）、川内春美さん（厚木市）、島田和子さん（福岡県大野城市）の14名がリーダーの資格を取得されました。

リーダーの皆さまの活躍を期待しています！

福岡県大野城市 島田 和子

①子どもの状況について

核家族、共働き家庭が増えており、ご近所との関係も希薄になっているので、子どもに深く関わる家族的な大人たちが減っている。

例えば私は、祖父母同居、店舗経営の家庭で育ったので祖父母や従業員、客に関わってもらい育ってきた。両親が私達の相手をできない時間にも、たくさんの愛情を受けてきた。嫌な思い出もあるけれど、いろんな人や考え方があることを知ったし、それぞれへの接し方を自然に学んできたように思う。

今、保育所等に通う子ども達は、長時間多くの先生や他の子どもたちと過ごすようになっているので、ある意味多くの人とは関わっているのだが、日々の環境の変化という意味では乏しいと思う。その結果、愛情不足を感じたり、コミュニケーション能力が身につけにくいのではないかと感じる。寂しさからくる心の問題を抱えたり、関係の薄い人を必要以上に警戒、遠慮したり、逆に横柄な態度をとったり。

我が家の子ども達も、平日はほとんどの時間を学校や保育所で過ごしているため、夜一緒にいられる時間の密度を上げるよう心がけている。また休日には、別居している祖父母を始め、できるだけいろいろな人と会い、様々な体験をする機会を作るようにしている。

また、自己肯定感の低い子供たちが諸外国に比べて多いことは非常に気がかりである。これは大人たちが、特に親が無意識で勇気くじきをしているのだろう。謙遜を美德とするような伝統的な日本の考え方や教育は、自尊心の醸成には繋がりにくい。また、近年増えている過保護や子供の孤立や競争を促す環境も、勇気や責任感、協力精神を育むことを妨げている。AP的な考え方、関わりは一つの大きな解決策だと思う。

②家庭教育について

上記で述べたように、人が生きていく上で最も重要な自己肯定感を醸成する基盤は、家庭での親の関わりだと考える。家庭教育、というと、礼儀作法や勉強、スキルのなものを教えるというイメージも強いが、もっとその根底にあるものに意識を向けるべきだと思う。例えば、子どもが最も欲している「接触」の欲求を十分に満たす関わりをもったり、子どもの主体性をきちんと見つけて声をかけたり、お手伝いを通じて協力精神を学ばせたり。一見地味で当たり前の関わりを親が日々大切に行っていくことが、本来の家庭教育だと感じる。それを基礎にして子どもたちは、様々な能力を身につけ、自立していけるのだと思う。

このことに当たっては、パートナーと考えを共有しておくことが大事だと感じており、我が家でもAP受講をきっかけに、講座の内容やその他の情報をもとに、いかに子どもの自立をサポートしていくかを話し合うようになった。

（感想：私はAPを学ばなかったら、自分のこれまでの誤った関わりに気づきませんでした。自分の関わりを振り返り、修正する貴重な機会を与えていただいたと思っています。子どもが愛しくなり、子育てが本当に楽になっています）

福岡市 磯部 玲子

親に子育ての柱となる明確な目的や将来に対する目標がないため、さまざまな情報に惑わされ、場当たりの子育てになっている。つまり、独裁的、放任的方法の子育てが多く、親子間の信頼関係が不安定だと感じる。本来、大切にされるべき無条件の愛情の中でゆっくり、ていねいに生活の技術や親の価値観を伝え、心と体の成長を共感的態度で見守り、勇気づけて自立へと導くという家庭環境が貧しいと思われる。

～～～最終レポートから～～～ 最近の子どもの状況、家庭教育に

八王子市 萩原 真弓

家庭教育において私が大切だと思うことは、子どもがいつでも安心できる居場所を作っておくということです。幼稚園や保育園、学校では子どもは一生懸命一日を過ごしていると思います、集団の中では思い通りにいかないことも、我慢することも、嫌なことも、たくさんあるでしょう。それでも頑張っている子どもたち。家に帰ってきたら、そこには安らぎの場が必要です。

「ただいま」の声に「おかえり」と返し、のんびりおやつを食べ、その日の出来事に耳を傾ける。そんな何気ない日常が子どもの疲れを癒やし、勇気を与え、明日の活力となっていくのです。少し前の時代では当たり前のようだったそんな時間が最近では失われつつある気がします。

働く母親は増え続け、保育園の待機児童解消がさかんに叫ばれています。保育園が増え、通う子どもたちが増えれば、当然学童保育所に入る小学生も増加していくことでしょう。

私も週3日程度ではあるけれど、働く母親でもあります。保育士として私は早朝に泣いている子どもをせかし、叱りながら園に入ってくる親子に出会ったり、また夕方暗くなってから帰宅していくランドセル姿を見かけると、家庭で過ごす時間にゆとりがなく、大変な状況なのだろうと推察します。私も余裕がなくなると、ついイライラして子どもに当たってしまったり、早く早くと、せかしたい気持ちになりますが、家庭の中で投げかけられる言葉が指図や規制ばかりだとしたら、子どもは居場所をなくしてしまうでしょう。

私は親子関係は親のあり方、言葉のかけ方しだい大きく変わるということをAPで学びました。子どもがのびのびと暮らせる居場所を作り、あたたかいコミュニケーションを心がけ、励ましていくことで、子どもは自分の力を発揮してぐんぐん成長していく、ということも実感できました。

APで学んだことは他にもたくさんあり、これはその一部ですが、慌ただしく生活する現在の私にAPはとても役立っています。



福井県 吉田 由香利

最近の子育て事情は、その家庭の価値観によりさまざまな形になっているように感じます。三世代家庭での子育てと核家族では、子どもの対応や環境が変わります。そして子育てについても情報があふれている中で、どの情報を採用するかを親も迷っているように思います。子育てにとっても積極的な親、自分自身のことで精一杯の親、周りに頼ろうとする親というように、いろいろな親がいますが、子どもにとって何が一番大切なのか、そのために自分たちがどうしたらいいのか、そこをしっかりと理解してほしいと思います。そんな中で子どもたちは自分の意志もなかなか持てず、持ったとしても周囲に受け止めてもらえず、もやもやした気持ちを自分より弱い方へ怒りとして向けることが多くなっているように感じます。親も子どもも、自分とそれ以外の他の人に対して、素直に、そしてあたたかい思いやりの心で接してほしいと思います。

2016年度リーダー研修会in福岡

無事に終了！

毎年のことですが、やはりAP仲間が集まって、さまざまなことを話し合うのは帰属心を深めるためにも有意義なことだと思いました。

しかし、今年も参加人数が少なかったので、2017年はまだ小さな子どもさんを育てている若いリーダーさんも参加できるように平日10時～13時くらいまでの研修会にすることにします。

2017年度のリーダー研修会は

「in福岡」：10月24日(火) 10時から13時まで
場 所：アクロス福岡会議室

参加費：5,000円

「in関東」：2017年7月8日(土) 10時から13時
午後は交流会と歓談

場 所：東京ウィメンズプラザ

参加費：5,000円



♡ ご連絡のコーナー ♡

◎ APジャパンのホームページを開いたことがありますか？ PCだけではなく、スマホでも見ることができます。

2017年からリニューアルしました。

季刊誌「リンク」は年4回、ホームページ上にPDFにしてアップしておりますので、どうぞご覧下さい。常時2年間分を公開していきたいと考えています。また、これからのAPジャパンの活動はホームページでもお知らせしていますので、お見逃しのないようにお願い致します。

◎リーダーさんはホームページにご自分の紹介、連絡先などを掲載して、講座につなげましょう。ホームページ上には講座を開催しているリーダーの連絡先を掲載しています。

APジャパンのホームページ上にご自身の連絡先などリンクさせたい方はどうぞご連絡下さい。

◎季刊誌「リンク」は、ホームページ上でご覧下さい。

季刊誌「リンク」は、新春号、春号、夏号、秋号と年4回発行しております。初めて講座を受講する受講生には、初回だけ郵送致します。リーダーの方は受講生の名簿を講座が始まりましたらすぐにお送り下さい。

2017年新春号から季刊誌「リンク」はホームページ上で、誰でも、無料で見る事ができるようになりました。

◎リーダーの勉強会を開いています！

APジャパンでは、9月から第一月曜日10時から12時までリーダーの勉強会をしています。

1月は16日(月曜日) 10時～12時です。皆さま、ぜひおいで下さい！ 楽しく、いろいろなことを一緒に学び、活動していきましょう。

場所はAPジャパン事務所（城南区茶山2-2-5 ☎090-8391-3196）参加費無料。

◎受講生のフォローアップ講座を毎月3回開催しています。受講生ならどなたでも参加できます！

受講したものの、なかなか行動に移せない！他の方の話も聞きたい！APを忘れないようにしたい！もう少し学びたい！そのような方のためのフォローアップ講座です。他の受講生との交流も楽しいですよ。気軽に参加して下さい。

1月は12日(木) 27日(金) です。日程が毎月変わりますので、お電話にてお問い合わせ下さい。毎回参加されている方にはAPジャパンから次回の日程をご連絡さし上げます。

場所はAPジャパン事務所（城南区茶山2-2-5 ☎090-8391-3196）

参加費1,000円です。



皆さまの所へたくさんの福が
来ますようにお祈しております。
今年もどうぞよろしくお願い
致します。





読んでますか、ホン？ この春におすすめの本♡

☆ ママ、もっと自信をもって

中川李枝子著 日経BPマーケティング

中川李枝子さんの書き下ろし本です。「ぐりとぐら」の作者といった方がわかりやすいかな？17年間保育士をされていた経験を元に書かれていますが、悩めるママたちへのアドバイスにも中川流に添えていて、なかなか面白い！

☆ 最高の子育てベスト55 トレーシー・カチロー著 鹿田昌美訳 ダイアモンド社

子どものために、親がしてあげるべきこと全部が書かれています。“全米騒然！話題のベストセラー”と銘打って売られていました。関わり方について、一つ一つ丁寧に書かれていますが、情報が多すぎて迷うかも・・・。

☆ 「賢い子」に育てる究極のコツ

東北大学加齢医学研究所教授 瀧靖之著 文響社

16万人の脳画像を見てきた脳医学者が教える、頭がいい子を科学的に解明！最初に与える本は図鑑！「好奇心は脳を育てる一番の栄養」だそうです。

☆ 幸福はどこにある フランソワ・ルロール著 高橋啓訳

サイモン・ペッグ主演の映画にもなった原作です。しあわせ探しの旅に出かけたヘクトール氏(精神科医師)の話です。著者も精神科医師です。「あなたはしあわせですか？」と問いかけてくる物語です。超おすすめ！

☆ コーヒーが冷めないうちに 川口俊和著 サンマーク出版

過去に戻れる喫茶店があります！私も「喫茶店フニクリフニクラ」に一度尋ねてみたくなりました。



💖 AP講座について 💖

日本でのアクティブ・ペアレンティング（略称AP 以下APと称す）の歴史は1985年から始まりました。今日、私たちがAP講座を受講できるのはAPジャパン創始者のジューン・シートさんの熱意と尽力のお陰です。私は1998年からジューン・シートさんの後を引き継ぎました。ジューンさんの講座を受講して以来30年間、APを信頼し、実践することで、より良い親子関係や人間関係を築くことができたと思っています。縁あってAPに出会ったことは、私の人生にとってラッキーでした。きっと皆さまも同じ気持ちだと思います。

さて、「AP」は「テキストとビデオを使って開く講座」です。受講者はテキストの購入が必須です。テキストが手元があれば、後でまた読み直し深く理解することもできます。「AP＝テキスト＋ビデオ」ですから、「AP」という名前を使用するワークショップやセミナーなどは、かならずテキストを購入していただきたいと思います。なお講座のための「オリエンテーション」や「体験講座」に参加される場合は購入の必要はありません。また講座を受講しない場合でもテキストだけ購入することができます。ご不明な場合はAPジャパンにご相談下さい。

APを学んでおられる皆さまがAPを実践していくことでいきいきと輝き、魅力的な親になること、そして子どもを自立させること、それがAPが広がっていく大きな力になると信じています。

APジャパンからのお願い

☆ 講座が始まりましたらすぐ受講生の名簿(名前、住所、電話番号)をお送り下さい。その際には郵便番号とお名前にふりがなをつけてお送り下さい。また転居された場合はご連絡下さい。

☆ 年会費はリーダー資格登録年会費(6,000円) トレーナー登録年会費(10,000円) となっております。この年会費にはリンク購読料も含まれております。お間違いないようお願い致します。登録年会費は年内に納入をお願い致します。

☆リーダーの方で退会される場合はかならずご連絡下さい。

☆ APジャパンの住所内(事務所)には常駐しておりません。テキストの注文や受講生名簿の送付などのAPジャパンへのご連絡は、できるだけ携帯電話あるいはメールでお願いします。

☆ テキスト(4,000円) キット(50,000円)などの教材は講座を受講しなくても電話注文で、購入することができます。

APジャパン本部(代表 野中 利子)

☎: 携帯電話: 090-8391-3196

携帯メール toshiko-mama-718@ezweb.ne.jp

P Cメール apjapan@activeparenting.or.jp

あとがき:

今年のお正月はとてもお天気が良かったですね。ポカポカと小春日和のような日が続いたので家族連れで三社参りに出かけた方も多かったのではないのでしょうか。

私の家には子どもたちが里帰りをして、お正月中ほんとに楽しくて賑やかでした! 日頃は家人と二人で、静かな暮らしをしていますが、玉にはうるさいくらい賑やかな方が元気が出ていいのかもしれませんが、ただ、9人分の朝昼夕の食事の準備はたいへんだったけれど、久しぶりに大家族の大変さを味わいました! 子どもたちは、3日には潮が引くようにそれぞれの家に帰って行きましたが、4日、私はついにダウン。一日中グッタリと寝込んでしまいました。5日は復活! さっそく本屋に行き、数冊の本を抱えて帰ってきました。数日間は読書三昧です。中でも読みやすかったのが櫻井恵里子著「心くぼりの魔法」。一気に読みました。この本はディズニーの元人材トレーナーだった櫻井氏書いた本です。10万人以上のキャストを育てた経験を中心に、商品開発のこと、パークで働くキャストとお客さん(ゲスト)との関わりで感動した話などを例に挙げながら、“人を笑顔に変えるツボ50”を書いています。周りの人に対する優しや勇気づけの話ですので、私たちに共通する分も多く、さらに櫻井氏は心理学も学んでおられるため共感できる所がたくさんありました。必読! そして10日。今日からいよいよ仕事開始! 今年も皆さまにためになる記事をたくさん書いていこうと思います。



APP社のホームページ

<http://www.activeparenting.com>

APジャパンのホームページ

<http://www.activeparenting.or.jp>

「リンク」はAPジャパンの印刷物です。

© 2017 発行者 APジャパン

代表 野中 利子

〒814-0111

福岡市城南区茶山2-2-5 (本部)

電話: 090-8391-3196

FAX: 092-851-8606

apjapan@activeparenting.or.jp

「リンク」は年間4回の発行しています。